

全国民生委員児童委員連合会会長表彰

●上唐原北区民生委員児童委員 別府 義一氏

民生委員児童委員は、厚生労働大臣の委嘱を受け、地域住民の身近な相談者・支援者として、地域福祉の向上のため活動しています。

この度、上唐原北区民生委員児童委員の別府義一さんが、就任から10年間務めた功績が認められ、全国民生委員児童委員連合会会長表彰を受賞されました。

12月12日(木)に坪根町長から表彰状が伝達され、多年にわたるご尽力に対して感謝の言葉が贈られました。



「コスミーとチェリー」が1日基地司令

11月24日(日)航空自衛隊築城基地にて行われた築城基地航空祭2024に上毛町のキャラクター「コスミーとチェリー」が1日基地司令として参加しました。当日は同基地開設70周年の記念の年で多くの来客でにぎわいました。



▲株式会社上野商会
代表取締役社長 羽田野健治氏

上毛町PRラッピングトラックの運行を開始しました！

町内の運送業者「株式会社上野商会」のご協力のもと、同社所有のトラックに町をPRするデザインをプリントした上毛町PRラッピングトラックが完成し、12月2日(月)に上毛町サテライトオフィスTHE THINK FACTORY, KOGEでトラックの出発式が行われました。

町の顔である大池公園や上毛町立体育館「ループアリーナ」、上毛町サテライトオフィスをメインにした、目を引くデザインとなっています。

ラッピングトラックが各地を走行することにより、さらなる町の知名度向上、誘客拡大、交流・関係人口の増加につながることを期待されます。

●問い合わせ先
企画開発課 企画情報係 TEL 72-3112

新年のごあいさつ

町長 坪根 秀介



新年おめでとうございます。

皆さまには希望に満ちあふれた輝かしい令和7年の新春を健やかに迎えられることとお慶び申し上げます。

さて、本年は町制施行20周年、昭和100年の年にあたりま

す。
この記念すべき年に上毛町民待望の大型スーパーが今春、役場前にオープンします。そして徐々にですが、本町が発展していく姿と15年先(2040年)の未来予想図を10月11日の20周年記念式典において、お披露目したいと考えています。

振り返ってみますと、この20年間は様々な出来事がありました。明治・大正・昭和・平成・令和と、この5つの世代が共存する超高齢化社会にあって、これを支える世代が昭和から平成へと移行する中で、人口ピラミッドは安定の富士山型から不安定な逆ピラミッド型へ変わりつつあります。またスマホの普及はその便利さと引き換えに失う代償も大きいと感じます。特に若者のスマホ依存症の増加は30〜50代の働き盛りでも、もの忘れが激しくなり判断力や意欲が低下するといわれています。もはや非常事態レベルにあるのではないかと危惧するところです。加えて、激甚化する自然災害はもとより、新型コロナウイルス感染症のような経験したことのない新たな感染症、大規模停電、原子力災害、テロによる恐怖等、様々な危機が浮き彫りとなった20年だったと捉えています。

私は今年こそは、これらの課題を一石三鳥・四鳥で解決する年にしたいと考えています。

これまでの経験・歴史を学び、その上で本町として、短・中・長期的に、しっかりと未来のあるべき姿を描き、創造してまいります。

本年は特に3つのCHISAN(治山・地産・池讃)を軸に防災・減災・国土強靱化を進めつつ、農林業の活性化に繋げてまいります。1つ目の治山とは、既に適齢期を迎えています。ます本町の人工林(京築ヒノキ・杉)の間伐・主伐を推進し、「荒廃森林の山から宝の山へ」をモットーに強い山と美しい景観をつくり、育ててまいります。

2つ目の地産(地消)ですが、林業は住宅へ、収入間伐で予算を捻出し、町の持ち出しを極限まで抑えつつ住宅政策へ助成することで、上毛町への移住・定住の流れをつくりま

す。また、農業については、上毛産品のブランド化をすすめ、ふるさと納税等をうまく活用し、かつてのトップレベルまで納税を盛り返すために提案型のグルメ店等を誘致し、町の誇れる店、税収を上げる稼ぐ店としてブランディングのできる店を基本コンセプトに、全国公募をかけた

と考えています。そこで交流ゾーンでもある大池周辺に民間の店舗を誘致し

つつ、活性化に繋げてまいります。

職員一同一丸となつて、今後も明るい話題をもっと増やしながら、移住・定住と所得増に尽力してまいりますので、引き続き皆さまのご理解、ご協力を何卒よろしくお願いいたします。

結びに本年が皆さまにとりまして更なる飛躍の年となりますように、また穏やかな一年となります事を心からご祈念申し上げ挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお

願い致します。

